

令和４年度 第２回伊那市立図書館協議会 議事録

日時	令和５年２月１７日（金）午前１０時００分から午前１１時００分まで
場所	伊那図書館 １階視聴覚室
出席者 （敬称略）	【委員】 中山貴史、埋橋浩、竹中雅幸、寺田利男、春日由美子、矢野茂登美、森田英和、唐木智恵子 【伊那市教育委員会関係者】 笠原教育長、馬場教育次長、北林生涯学習課長、埋橋伊那図書館長、丸山高遠町図書館長
議事内容	
１ 開会	
２ あいさつ	竹中会長、笠原教育長
３ 協議事項	
(１) 令和４年度事業報告について	
事務局	資料１頁から１１頁の主要事業の報告について、伊那図書館、高遠町図書館それぞれの館長から報告、説明。
(２) 令和５年度主要事業について	
事務局	資料１２項伊那市立図書館主要事業について伊那図書館、高遠町図書館それぞれの館長から説明。
会 長	ご意見、質疑があればお願いしたい。
委 員	コロナ禍の中、感染対策をしつつ色々な事業をしていただき、ありがたい。
委 員	コロナ禍において、保育の現場は非常に慌ただしい。職員の心のケアとなるような事業も企画していただけるとありがたい。
会 長	ぬくもりのある図書館づくりは重要だと思う。
委 員	図書館でこれほど色々な試みや事業を行っているとは驚いた。高遠町図書館は温かみのある雰囲気を楽しみに利用している。色々と骨をおっただきいて感謝している。
委 員	デジタル化が進んでいる中、伊那図書館と高遠町図書館では紙の本と電子書籍とで予算付けはどのようになっているのか。また、今後紙書籍と電子書籍との比率をどのように進めていくのか。
事務局	電子書籍の予算については、デジとしょ信州への負担金という形で、人口割によって決められた額を伊那図書館の予算から負担していく。伊那市立図書館単体での電子図書館の開館は難しいため、今後はデジとしょ信州における選書協力という形で行っていき、徐々にコンテンツを充実されていけばと考えている。紙書籍の購入予算は、伊那・高遠共に例年並みを確保している。
委 員	利用者について、新規に登録する方とリピーターの方とがいると思うが、利用実態としてはどのようになっているのか。
事務局	利用者の内訳としては、子どもとその保護者の方の利用が多いため、リピーターの方が多くを占めている。年齢層としては親子の次に高齢者

	の方が多。逆にデジとしょ信州では、40～50 代の方の利用率が多くなっている。
委 員	古い本や資料のデジタル化が進められているが、紙媒体の書籍との住み分けが必要だと思う。古い本の修理やクリーニングも進めて欲しい。
4 その他	
5 閉会	